



- 藤井敏子 (日本共産党・安佐南区)
 - ・気候危機打開の取り組み
 - ・上安産業廃棄物最終処分場
 - ・中央公園の今後の整備方針
 - ・学校給食の見直し方針
- 木戸経康 (自民党・市民クラブ・安佐北区)
 - ・広島市の交通政策の方向性
 - ・いじめ・不登校対策等
- 西田浩 (公明党・安佐北区)
 - ・8月豪雨災害に係る対策
 - ・黒い雨被害者の救済
 - ・投票率向上対策
 - ・空き家の活用
 - ・高陽地区へのスマートインター設置
- 盛土対策
- 藤田博之 (市政改革ネットワーク・佐伯区)
 - ・市街地再開発事業と市有財産の交換
- 平岡優一 (自民党・市民クラブ・中区)
 - ・広島城の整備
 - ・厳粛な平和記念式典の開催
 - ・中学校給食の完全実施
 - ・動物愛護の取組
 - ・スケートボードパークの整備
- 中心市街地の浸水対策

今後の公共交通の方向性は

人口減少等の社会情勢の変化による公共交通の衰退・サービス低下の事例として、芸備線存続問題があるが、本市は今後の公共交通の維持・存続に向けて、どのような姿勢で取り組むのか。



木戸経康 自民党・市民クラブ

高陽地区スマートインターチェンジの早期設置を

高陽地区へのスマートインターチェンジの設置について、現在の検討状況と今後の見通しはどうか。

国からの「実現に向けて緊要の課題であり、自治体を中心として公共交通を支えるシステムを構築する必要がある」との意見を踏まえ、共同事業者となるネクスコ西日本と協議を進め、利用者の安全性・利便性とコスト削減の双方に配慮した計画案を取りまとめた。令和元年度以降、中国地方ではスマートインターチェンジの新規希望がなく、他地域との競合は低いと考えられることから、国に現在の案を提示し、実現に向けた協議を進めていきたい。

中山間地域の空き家の活用対策

本市として中山間地域の空き家の活用に関してどのような問題認識を持ち、今後、どのように取り組んでいくのか。



西田浩 公明党

黒い雨被害者の救済

被爆者健康手帳の申請において、高齢者が一番懸念していることは、当時の状況等を記述することである。高齢者に配慮し手続きを簡素化すべきと思うがどうか。

申請書には可能な限り記載してほしいが、記載が難しい場合は、職員が項目内容を聞き取って記載を補助したり、当時の記憶がない場合は、「不明」と記載していただいたりして、申請を受け付けている。また、証人も必須ではない。さらなる負担軽減のため、申請後の面接聴取に代え、電話による聴取を検討している。

財産交換の手続きは正当か

2号基町駐車場および団地の官公庁施設「基町団地」は、都市計画の変更および用途廃止をした上で普通財産とするべきだが、手続きを経ずに変更しているのではないか。その場合、財産交換は無効ではないか。



藤田博之 市政改革ネットワーク

鑑定評価書は公表すべき

市有財産である基町駐車場の鑑定評価書を、市民に公表するのは当然のことであるのに、なぜ鑑定評価書を公表しないのか。

都市計画は、都市施設や土地の利用そのものに関して規制するものであり、財産の取得または管理の主体を規制等するものではない。基町駐車場は、行政財産を普通財産に変更し、財産交換しているが、令和4年2月の都市計画審議会において都市計画の変更について諮り、決定する予定である。なお、こういう形で変更することについては、関係機関と調整の上、合意をとっている。

都心にスケボーパークを

街なかでスケートボードをする若者があり、苦情が出ている。スケボー人気が高まる中、この問題を解決するために、旧市民球場跡地など、都心にスケートボードパークを整備してはどうか。



平岡優一 自民党・市民クラブ

中心市街地の浸水対策

豪雨の際、中心市街地が浸水に悩まされている。この問題を解決すべく、本市は雨水幹線や排水ポンプの整備を推進してきたが、整備の完了時期はいつ頃の予定か？早期完成のために、より多くの財源を確保すべきではないか。

街なかでスケートボードをする若者があり、苦情が出ている。スケボー人気が高まる中、この問題を解決するために、旧市民球場跡地など、都心にスケートボードパークを整備してはどうか。

豪雨の際、中心市街地が浸水に悩まされている。この問題を解決すべく、本市は雨水幹線や排水ポンプの整備を推進してきたが、整備の完了時期はいつ頃の予定か？早期完成のために、より多くの財源を確保すべきではないか。

議会トピックス

旭日中綬章を受章された議員に感謝状を贈呈しました

昨年9月1日に、木島議員が旭日中綬章を受章されました。

これは、長きにわたり地方自治の育成、発展に貢献された木島議員のご功績が認められたものです。

このことを受けて、市議会では、10月27日の臨時会において、決議をもって木島議員に感謝状を贈呈しました。



佐々木議長(左)から感謝状を贈呈される木島議員(右)

用語解説 本文中に赤表記した用語を解説しています

1 G7サミット

フランス、米国、英国、ドイツ、日本、イタリア、カナダの7カ国および欧州連合(EU)の首脳が参加して毎年開催される国際会議。2023年(令和5年)には、7年ぶりに日本で開催される。一般的には、首脳会議に出席する7カ国の総称として、英語のGroup of Sevenを意味している。

2 NPT再検討会議

核兵器保有国の増加を防ぐ一方で、核兵器保有国に対しては、核軍縮のための交渉を義務付けており、その成果を定期的に検討するため、5年ごとに開かれている会議。

3 スマートインターチェンジ

高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗り降りができるように設置されるインターチェンジ。利用できるのは、ETC車載器の搭載車のみで、簡易な料金所として運用されるため、地域の活性化などを目的に、全国的高速道路で順次導入が推進されている。

4 中山間地域

平野の周辺部から山間部に至る、まとまった平坦な耕地が少ない地域。山地の多い日本では、中山間地域が総土地面積の約7割を占めており、多面的で公益的な機能を有するだけでなく、美しい景観や伝統的な文化など、大切な資源がある。